

新病院長就任挨拶

清水 昭彦



この度は、武藤正彦前病院長の後任として、院長職を拝命することになりましたので、一言ご挨拶申し上げます。

私は地元宇部市西岐波の生まれです。西岐波小学校、西岐波中学校、宇部高等学校を経て、長崎大学医学部に入学、卒業後は同大学の循環器内科に籍を置き、国立循環器病センター（現：国立循環器研究センター、大阪）に国内留学後、米国クリーブランドに海外留学いたしました。その間は主に不整脈学を学んできました。1993年（38歳）で山口に戻って山口大学医学部循環器内科（旧第二内科）に入局後は、不整脈の臨床・研究と若手医師の育成に取り組みました。2001年からは保健学科に異動となり医学科・保健学科の学生教育にも携わりながら臨床不整脈学の研究を積み重ねてきました。2012年からは保健学科長と副医学部長を兼任し、2014年からは日本不整脈学会理事に就任し、全国の不整脈学の発展にも寄与してまいりました。

この度縁あって宇部興産中央病院の病院長を拝命しましたが、もともと宇部市西岐波生まれです。幼いころに、亡くなった母親に何の病気か忘れましたがこの病院に連れてこられたことを覚えています。その際に、母から“この病院はすごい病院なので安心していいよ”聞いたことを思い出します。当然その時には、今日このような日を迎えることになろうとは夢にも思っておりませんでした。

平成27年8月に宇部興産中央病院は地域医療支援病院となり昨年は新病棟も完成しました。宇部興産中央病院をここまで発展させて来られた多くの諸先輩医師、看護師をはじめとした従業員の方の苦勞に報いるためにも、今まで以上に質の高い医療を地域の皆様に提供できるように日々頑張っていきたいと思っております。

今後とも皆様のご指導とご支援を承りますようお願い申し上げます。

2018年

4月

89号



地域連携室のイメージ花「たんぽぽ」

たんぽぽの花ことばは「真心の愛」「明朗な歌声」幸福を知らせる花、綿毛が地域連携の歌声です。自ら風にのり、地域の中に飛んでいき、地域に医療連携の種子を広げていく…そんな思いを込めた広報紙です。

【病院理念・方針】

いつでも誰でも安心してかかれる中央病院
常に使命感を持ち協調して行動する中央病院

- 一、 医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。
- 一、 患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。
- 一、 地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。
- 一、 経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。

地域医療支援病院



医療法人社団
宇部興産中央病院
地域連携室

宇部市大字西岐波750番地
TEL(0836)51-9421

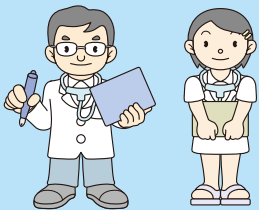
退任挨拶

院長 武藤 正彦



平成30年3月末をもって宇部興産中央病院の理事長・院長を退任することになりました。振り返ってみますと、就任時には既に新病棟の建設が始まっており、平成29年10月には盛大な竣工式記念事業を無事挙げて、平成26年に医療法人化した宇部興産中央病院に相応しいロゴマークを公募制作して新棟の壁面に設置し、地域医療支援病院として地域医療に貢献して参りました。診療面では、総合診療科を立ち上げ、内科疾患診療の充実を図り、人材育成面では、平成30年1月に県内の若手医師を育成する一環として山口大学医学部附属病院と連携して宇部興産中央病院に臨床教育センターを設置して、医学生および初期臨床研修医の救急医療を中心とした実践的教育の支援に務めました。職員の健康管理面では、院内改組をして健康管理センターを新設し、職員の心身の健康管理の質的向上を図りました。わずか2年間の在籍でしたが、多くのことを学ぶことができましたこと皆さまのご理解、ご協力のお蔭と改めて深く感謝申し上げます。今後、宇部興産中央病院の益々のご発展と職員の皆さまのご健勝並びにご多幸を祈念申し上げます。

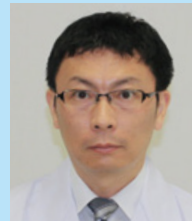
新任医師



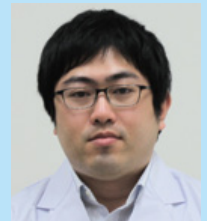
清水 昭彦
理事長・院長



麻酔科
吉松 文 医師



麻酔科
吉村 学 医師



外科
渡邊 孝啓 医師



原賀 健一
研修医



進 正留
研修医



中西 俊就
研修医

退任医師

理事長・院長
武藤 正彦

脳神経外科
田中 康恵 医師

外科
兼定 航 医師

2018年 新人看護師



新たな年度を迎え満開の桜と共に、看護師27名が入職しました。皆さんの期待に応えるよう一歩ずつ進んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

小児科休止のお知らせ

2018年3月末日をもちまして休止させていただくことになりました。長きにわたり、当院の小児科をご愛顧いただきましたこと心より感謝申し上げます。



「臨床教育センター」開設

今年1月から宇部興産中央病院2階に山口大学医学部附属病院「臨床教育センター」が開設されました。山口大学医学部附属病院 総合診療部 准教授の齊藤裕之医師が、当院にフルタイムで勤務し、医学生や若手医師と一緒に1・2次救急や内科疾患の入院管理を行っています。ここ数年、山口県では20-30代の若手医師が減少傾向にあり、大学では魅力ある若手医師育成のための教育環境の整備を行っています。臨床教育センターの事業はその一環でもありますが、本センターは「大学病院」が持つ教育資源やノウハウを活かしつつ、豊富な症例数と地域に密着した活動を行ってきた「宇部興産中央病院」を診療と教育のフィールドとして活用することで若手医師の基本的臨床能力を養うことを目的としています。医学教育の世界では、若手医師が元気な病院は病院全体が元気になると言われています。山口県の医療を支える若手医師を、皆様のご協力のもとで育てて頂けたらと思います。



写真：臨床教育センターでレクチャーや症例カンファレンスをしています。

検査機器が新しくなりました！

画像診断室 室長 小田真一郎

新館の3.0T-MRI装置について

昨年10月、新しいMRI装置を導入しました。この装置は、シーメンス社製の3.0T-MRI (T:テスラ) で、「静磁場」と呼ばれる磁力強度が従来の装置 (1.5T) の2倍となっています。この装置のメリットは、検査時間の短縮と、1.5Tでは得られない画像、例えば、脳外科の手術支援に有用な画像、造影剤を使用せずに脳の機能を画像化、高精細な関節領域の画像、等が見えることで、特に脳外科・整形外科領域で力を発揮しています。

但し、磁場が強力になると、金属に対する影響も大きくなるため、体内や持込金属等の制限も、より厳しくなりますのでご注意ください (検査時の注意事項はスタッフにお尋ね下さい)。また3.0Tは、体全体や内臓の動きに弱いというデメリットもあり、救急対応や検査する部位等にも制限がありますが、その点は1.5T装置でカバーしています。

MRIといえば、検査中の音や狭さでストレスを感じる検査というイメージがありますが、今回は患者さんがリラックスして検査を受けていただけるように、室内を「白樺の森」をイメージしたデザインにしました。装置自体も従来に比べ開口径が70cmと広く、圧迫感を軽減していますので、検査の際の苦痛や不安を少しでも解消できます。



イボの治療を諦めていませんか？

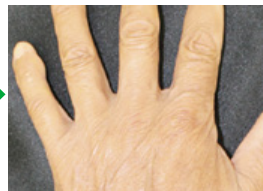
当院ではイボ（ウイルス性イボ、尋常性疣贅）の保険診療から私費診療まで行っています。

イボでお悩みの方は是非、ご受診ください。

お問合せ：皮膚科 外来



治療前



治療後

第3回 日本心臓リハビリテーション学会 中国地方会

優秀賞受賞

宇部興産中央病院 理学療法士 伊藤 惇

この度、第3回日本心臓リハビリテーション学会・中国地方会（広島市文化交流会館、2018年2月17日）において、優秀賞を受賞いたしました。

当院での外来心臓リハビリテーションにおける長期的効果について発表させていただきました。

今回の経験を日々の診療に生かしていくと共に、これからも自己研鑽に励みたいと思います。



演 題：外来心臓リハビリテーションにおける
血管内皮機能の推移 ～1年の軌跡～

研究者：宇部興産中央病院 リハビリテーション室
伊藤 惇、河村理恵子、岡部航太

宇部興産中央病院 循環器内科 原田雅彦

徳久内科医院 徳久隆弘

平成30年
3月8日

宇部興産文庫贈呈式開催

地域貢献事業として、4年目の宇部興産中央病院文庫贈呈式を開催いたしました。

宇部フロンティア大学人間健康学部看護学科・宇部看護専門学校専門課程看護科・YIC看護福祉専門学校看護学科・山口県鴻城高等学校看護専攻科4校から学校大使8名を招き、5万円相当の書籍を贈呈しました。

日進月歩する医療・看護の中で、専門知識と実践経験を統合させ看護の道に役立てることを心から願っています。



新年交流会

1月25日に恒例の新年交流会を当院医師と診療所の先生方と合わせ72名で開催しました。始めに武藤院長より、「病院の将来を考える ～宇部興産中央病院の担うべき役割～」についての報告があり、矢野医師会長の乾杯でスタートしました。昨年10月の新棟竣工式・祝賀会のビデオも流し、診療科ごとのテーブルで先生方は懇親を深められました。



ドクターTVに当院医師が紹介されています！

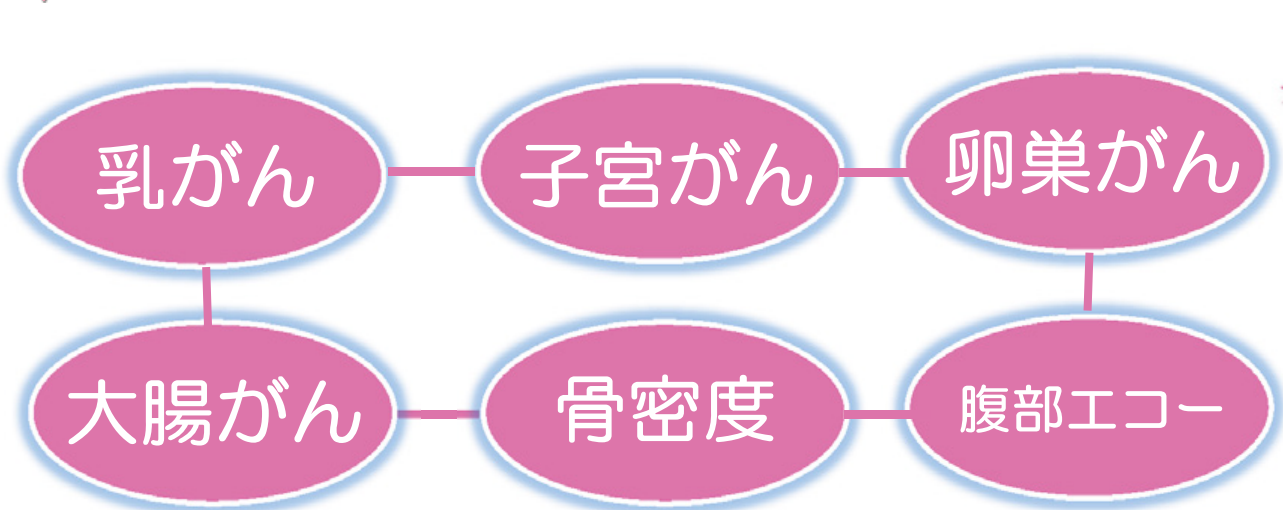
ドクターTVは市内の熱いドクター、全国の優秀なドクターを紹介する総合情報サイト(インターネットテレビ)です。宇部興産中央病院から「脳外科 西崎先生、池田先生」「外科 福田先生、平木先生」「整形外科 森脇先生」をご紹介します。是非ご覧ください。(院内は医事課前で放映中)

<http://dtv.jpa.com/yamaguchi/> または、「ドクターTV 山口」で検索！



レディースドックご案内

 早期発見が一番の予防策です。



	検査項目
計測 内科診察	①問診（特定健診質問票）
	②内科診察
	③身長、体重、BMI、腹囲、血圧
	④聴力検査（オーディオメーター1000・4000ヘルツ）
眼科検査	視力
尿・便検査	尿一般（糖、蛋白、潜血など）
	尿沈査
	大腸がん検診（便潜血2日法）
レントゲン検査	骨塩定量
	胸部X線
生体検査	心電図
	腹部エコー
血液検査	血液一般（MCV MHC MCHC HbA1c）
	生化学I血液検査 （中性脂肪 尿酸 GOT GPT HDLコレステロール LDLコレステロール γ -GTP 空腹時血糖 総蛋白 総コレステロール、他）
	免疫学血液検査（RF HBs抗原 HCV抗体）
	乳がん検査（マンモグラフィ2方向）
婦人科	子宮がん検査（頸部）
	CA125（腫瘍マーカー…卵巣がん）

 レディースドック料金：25,000円（税込）

全ての女性が定期的にチェックしておくべき健診メニューを準備しております。お気軽にお問い合わせください。

（医）宇部興産中央病院 健診センター

TEL 0836-51-9222 FAX 0836-51-9241

<http://www.ube-hp.or.jp>



2018年2月22日(木) CS発表大会

2017年度CS発表大会を開催しました。

今年は、4部署から患者さんへの接遇やより良い環境づくりなど、CSに取り組んできたことを発表しました。院長賞は、コスモコンサートや裏メニューなど「自分たちが行きたくなる店作り」を発表した、展望レストラン・コスモが受賞。以下、CS院長賞：健診センター、副院長賞：栄養管理室、努力賞：看護部がそれぞれ受賞しました。

来年度も引き続き患者さん満足度向上に努めより良い「宇部興産中央病院」を目指していきます。



発表の様子



受賞のみなさん

FMきららマラソン

2月4日(日)にFMきららカップ宇部駅伝がときわ公園周遊園路コースで行われ、今年度も2部へ5チーム「チームニシザキA~E」、女子の部へ1チーム「チームニシザキ チェリー」計6チームが参加しました。



当日は朝から吹雪舞う悪天候。朝は白銀の世界でしたが、我々2部のスタート時にはまずまずの天候でした。今年はずっと襷を継ぐことが最優先、新ロゴをプリント刺繍していただき、新ユニフォームで各自がベストを尽しました。



第10回 コスモ・コンサートを開催しました!

2018年3月17日(土)コスモ・コンサートを開催し、「アヴェ マリア」、「ふるさと」、「川の流れるのように」など皆さんが知っている曲も演奏頂きヴァイオリンとピアノの音色でお越し頂いた皆さんに癒しの時間をお届けしました。

これからも患者さんや地域の方々へ楽しいお時間を提供できたらと思います。

是非ともお誘い合わせの上お越しください。



コスモ・コンサートの今後の予定 (演奏時間：14:00-14:30 ただし、7月7日は14:00-15:00)

5月19日(土) コーロソルジェンティ 混声合唱団

6月30日(土) 楽夢音(ラムネ) ギター&ピアノ

7月7日(土) 竹本直子&手嶋沙織 フルート&ピアノ (1周年記念コンサート)

8月18日(土) アラ ホウ ハワイアン サウンズ